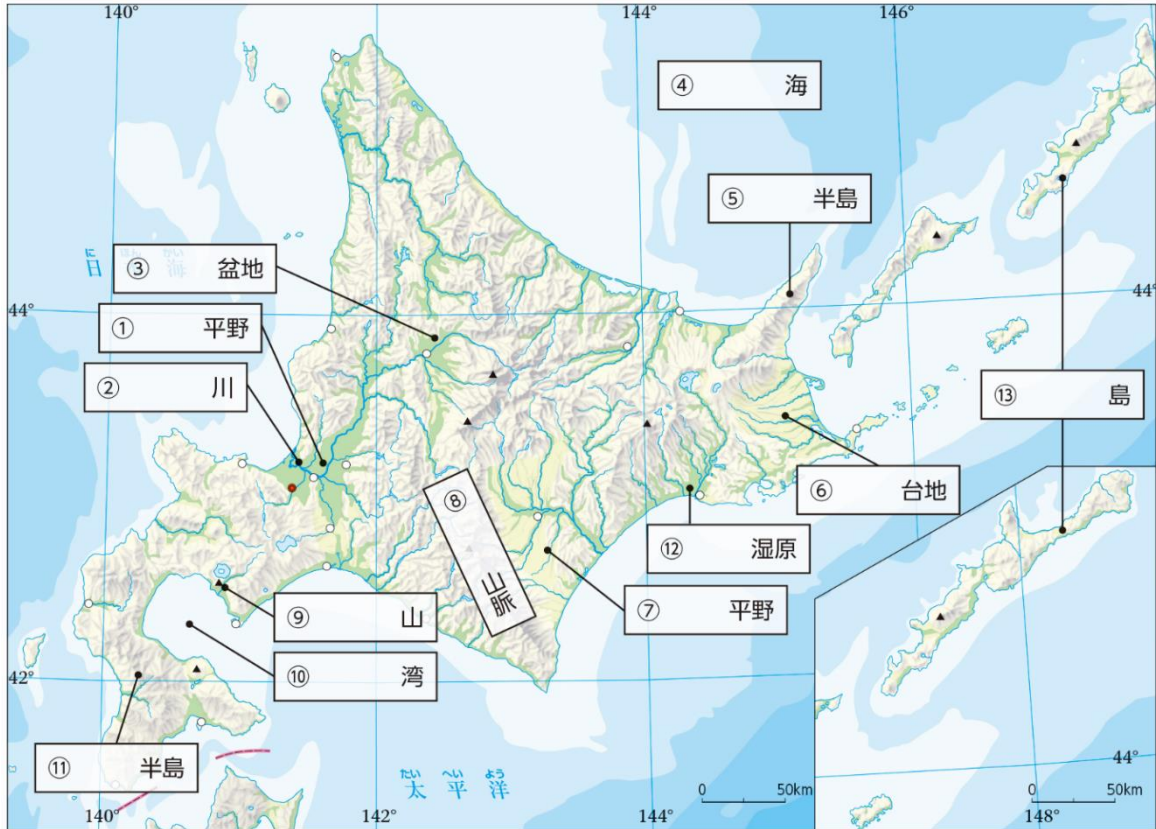


学習のまとめと表現

北海道地方の学習を振り返って整理しよう

教科書対応ページ p.272(参照するページ p.260~269)

②地図を使って確かめよう。



①地図中の にあてはまる地名を書き入れよう。

①	石狩平野	②	石狩川	③	上川盆地	④	オホーツク海
⑤	知床半島	⑥	根釧台地	⑦	十勝平野	⑧	日高山脈
⑨	有珠山	⑩	内浦湾 (噴火湾)	⑪	渡島半島	⑫	釧路湿原
⑬	択捉島						

②根釧台地で酪農が盛んな理由について、自然環境の面から説明しよう。

※(解答例)教科書 p.265 の本文の記述などを振り返りながら。

(解答例) 夏が涼しい北海道東部の根釧台地は、暑さに弱い乳牛の飼育や牧草の栽培には適した

地域となっているが、一方で、火山灰におおわれた丘陵地帯であること、親潮や夏の濃霧の影響で

年間を通じて気温が上がらないことから、畑作には適さない地域だから。

③北海道の特色について、次の文の()に適する語句を書き入れよう。

・北海道では、平地でも11月ごろには(a)が降り、4月ごろまで雪が残ります。季節風の影響で(b)側は積雪量が多く、一日の最高気温が0℃に満たない(c)が多いため、降った雪もとけにくくなります。積雪量の少ない太平洋側では地面が深くまで(d)します。そのため、道路に積もった雪をとかず(e)や、吹雪で見えなくなる車道の位置を示す(f)が設置されています。

a	初雪	b	日本海	c	真冬日
d	凍結	e	ロードヒーティング	f	標識

掲載されている解答は、一つの例です。
自分の解答が正しいか気になった場合は、先生に質問してみましょう。



③表現しよう。

①【産業】北海道で、「とる漁業」から「育てる漁業」へ^{てんかん}転換が図られた理由を説明しよう。

※（解答例）教科書 p. 266-267 の本文の記述などを振り返りながら。

(解答例) 1982年、国連海洋法条約が採択され、さけ、ますがもどって産卵する川をもつ国に漁獲の権利があるとする母川国主義が主張されるようになり、北洋漁業を行う漁場が大きく制限されたため。また、乱獲や環境悪化などが原因となって、漁獲量が減少したため。

②【環境】これまでの噴火^{ふんか ひがい}で被害が大きかった有珠山^{うすざん}周辺の地域^{ちいき}では、火山と共存するためにどのような取り組みをしてきたかまとめよう。

※（解答例）教科書 p. 268-269 の本文の記述などを振り返りながら。

(解答例) 今後も火山による災害が予想されるため、防災情報をまとめたハザードマップを整備、住民に周知している。加えて、被災した道路や噴火口などをめぐる散策路を整備し、地元のガイドが案内するツアーを行うなど、観光資源としての活用、さらには地域住民とホテルなどが協力し、噴火時に観光客を避難させるための訓練なども行っている。

④意見を交換しよう。

*北海道地方の産業の特色について、農業、漁業、観光産業ぶんたんに分担して調べ、まとめよう。また、それをもとに、「自然環境との関わり」について意見を交換しよう。

※（解答例）教科書 p.264-265(農業), p.266-267(漁業), p.268-269(観光産業)の本文の記述などを振り返りながら。

産業名	産業の特色（まとめの例）
農業	<p>*<u>広い土地で大型の農業機械を使い、大規模に行われている。日本の食料基地。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> → 稲作地帯：石狩平野など(泥炭地→土地改良+稲の品種改良＝水田地帯に) → 畑作地帯：十勝平野など(広大な土地で大型機械の使用)…生産量第一位の農産物も。 → 酪農地帯：北部と東部(涼しい気候+経営の大規模化)…経営が苦しい現状も。
漁業	<p>*<u>「とる漁業」の生産量の減少から「育てる漁業」へ。漁業生産量第一位。</u></p> <p>【とる漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛んであったにしん漁→1950年から漁獲量激減。 ・さけ、ますの遠洋漁業(北洋漁業)が盛んに [オホーツク海や北太平洋へ] → 国連海洋法条約や母川国主義＝漁場が制限されて衰退。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸漁業+【育てる漁業】へ転換。 → さけの栽培漁業やほたて、かきの養殖
観光産業	<p>*<u>寒冷な冬季の観光客の呼び込みと、宿泊施設の整備などが課題。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の観光客呼び込み：冬季イベントの開催，降雪を生かした外国人観光客の呼び込み。 ・火山や温泉を生かす：自然や火山災害を案内するツアー(世界ジオパークなど)。 ・雄大な自然：多数ある国立公園を生かす(団体から個人客へ+目的の多様化)。 <p>→ 観光資源である自然の保護。</p> <p>…エコツアーや農業体験など，多様な要望に応える工夫。</p>